

Tomimoto Kenkichi: A Retrospective

生誕120年

富本憲吉展

平成19年(2007) 6月30日(土) — 8月19日(日)



休館日 月曜日(ただし、7月16日と8月13日は開館します)、7月17日(火) 開館時間 午前9時〜午後5時(入館は午後4時30分まで)
観覧料 一般1000円(800円)、学生800円(600円)

※(内は前売りおよび20名以上の団体料金です。なお、70歳以上と18歳以下の方および高等学校中等教育学校に在学する生徒は無料です。
主催 山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、Y&A 山口朝日放送 後援 萩市
協賛 日本写真印刷株式会社、ゆとりスタイル、山口銀行 協力 富本憲吉記念館、全日本空輸株式会社、(株)エフエム山口

山口県立萩美術館・浦上記念館

〒758-0074 萩市平安古586-1 展覧会のお問い合わせ TEL 0838-24-2400
ホームページ <http://www.hnm.pref.yamaguchi.lg.jp>



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM
〒758-0074 萩市平安古586-1
TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401

色絵金銀彩四弁花模様飾壺 1960年 岐阜県現代陶芸美術館蔵

富本憲吉展

生誕120年

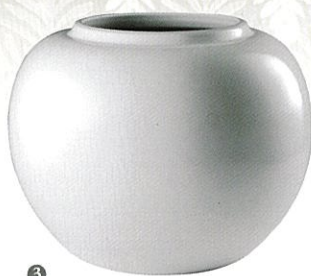
Tomimoto Kenkichi:
A Retrospective



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

- ① 白磁八角コーヒースーツ 1921年 富本憲吉記念館蔵
- ② 染付銅彩魚貝模様大鉢 1933年 京都国立近代美術館蔵
- ③ 白磁大壺 1941年 岐阜県現代陶芸美術館蔵
- ④ 瑠璃刷毛目金彩「竹林月夜」模様小壺 1955年 個人蔵
- ⑤ 色絵金銀彩染付風景文字模様飾壺 1957年 東京国立近代美術館蔵
- ⑥ 色絵節篋 1941年 個人蔵
- ⑦ 色絵金銀彩菱四弁花模様蓋付飾壺 1962年 茨城県陶芸美術館蔵

近代陶芸の巨匠として広く知られる、富本憲吉(1886~1963)の生誕120年を記念して企画された展覧会です。

奈良県安堵村の旧家に生まれた富本は、東京美術学校(東京藝術大学)図案科に進み、建築と室内装飾を学んでいましたが、在学中に留学した英国でウィリアム・モリスやホイッスラーらの工芸思想を具現化した仕事に接し大いに触発され、帰国後にバーナード・リーチとの出会いの中で作陶の道に入っていました。

最初は安堵村の自宅で楽焼や土焼といった質朴な作陶を独学で始め、やがて明澄温雅な美感をもった白磁や染付の創出へと傾斜していきます。東京祖師谷に築窯してこれらの制作を重ねつつ、各地の伝統窯を研究するなかで、独創的表現を色絵磁器の技法に求めていきました。戦後は京都へ活動の場を移し、富本陶芸の集大成ともいえる華麗な色絵金銀彩による創作世界を完成しました。1955年には「色絵磁器」で初めての重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されています。

富本の50年におよぶ多彩な作陶活動は、「模様から模様を造る可からず」という信念のもとに、オリジナルな形と模様をひたすらに追求し、近代的個人作家による創作のあり方を求めて格闘した遍歴の軌跡でもあります。

本展覧会は、大和時代の楽焼や土焼から、東京時代の白磁と染付、京都時代の色絵金銀彩までの代表作をはじめ、留学先のロンドンでのスケッチや絵手紙、創作の過程を記録する貴重なスケッチ、自刻自摺の木版画、多くの装丁本といった多彩な資料など約240点で富本憲吉の全容に迫ります。



◆記念講演会

「苛烈と洗練の人—富本憲吉」(平成19年度第2回美術講座)
日時 6月30日(土) 13:30~15:00 / 講師 柳原睦夫氏(陶芸家 大阪芸術大学名誉教授)
※聴講無料(定員80名、当日受付先着順)

◆ギャラリートツアー(担当学芸員による展覧会ガイド)

毎週日曜日の11:00~12:00 参加無料(観覧券が必要ですが、定員なし)

◆ワークショップ

「土火つと遊び隊 色絵に挑戦!!!」

磁器への土絵付け体験コースです。窯元で焼成して、後日お渡しします。
日時 8月11日(土)・12日(日) 13:00~15:00 / 講師 松尾優子(陶芸家 女流陶芸正会員)
※各回15名定員。参加料1,500円+材料代【つぎの器種から選択できます。いずれも手作りの白磁製品(1個の価格)、五寸皿・皿立付(1,000円)、湯呑み(1,000円)、飯碗(1,000円)、小ワイングラス(1,700円)】参加希望者は、往復ハガキに参加者全員の氏名・住所・電話番号と器種・個数をそれぞれ明記のうえ、7月29日(日)までに当館「土火つと遊び隊」係までお申し込みください(申し込み多数の場合抽選)。

◆呈茶席

望月席 7月28日(土)・7月29日(日) 10:00~15:00 / 表千家萩地区青年部
孟秋席 8月18日(土)・8月19日(日) 10:00~15:00 / (社)茶道裏千家淡交会維新青年部
(7月28日・29日は、漆作家の古伏脇 司氏によるアーティストトークがあります)
場所 和風展示室(古伏脇 司の茶室「風、水、根を張るべき場所」)

【萩の主なイベントのご案内】

萩・日本海大花火大会 8月1日(水) 菊ヶ浜海水浴場
萩夏まつり 8月1日(水)~3日(金) 萩市街各所
萩・万灯会(迎え火) 8月13日(月) 大照院
萩・万灯会(送り火) 8月15日(水) 東光寺
※お問い合わせ 萩市観光課 電話 0838-25-3139
ホームページ <http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

【交通のご案内】

新幹線 [上]博多→小倉→新山口 [下]新大阪→広島→新山口
山陽本線 [上]下関→新山口 [下]岩国→柳井港→徳山→新山口
バス 新山口駅から、防長交通「特急はぎ号」65分・中国JRバス「特急はぎ号(湯田温泉・山口駅経由)」83分、ともに萩バスセンター下車、徒歩15分
山陰線 [上]小倉→長門市→東萩 [下]松江→益田→東萩
東萩駅から、タクシー7分 / 萩循環まあるバス20分 / 徒歩30分
航空機 ①羽田→山口宇部(8往復) 山口宇部空港から、萩近鉄タクシー「乗合タクシー」75分(利用前日まで要予約、電話 0838-22-0924) ②羽田/大阪→萩・石見(直行便各1往復) 萩・石見空港から、直行バス75分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
車 中国自動車道 小郡IC./美祿IC.各50分

【観覧料(税込)】

	一般	学生
当日	1,000円	800円
前売	800円	600円
団体(20名以上)	800円	600円

70歳以上と18歳以下の方、および高等学校中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料です。

